



各常任委員会の視察先

5つの常任委員会で、市政の課題や先進事例の調査を行うため、本年度、それぞれ以下の内容で他自治体等への行政視察を実施します。

企画総務委員会 7月20日(水)～22日(金)

- 20日(水) 神奈川県川崎市／資産マネジメント
- 21日(木) 千葉県千葉市／国家戦略特区の取組
- 22日(金) 富山県富山市／拠点中心型まちづくりと合併旧町村部との連携

教育次世代委員会 7月26日(火)～28日(木)

- 26日(火) 静岡県磐田市／コミュニティスクール
- 27日(水) 新潟県十日町市／十日町市スポーツコミッション
- 28日(木) 新潟県長岡市／長岡版「ネウボラ」

環境福祉委員会 7月12日(火)～14日(木)

- 12日(火) 埼玉県さいたま市／さいたま市桜環境センター
- 13日(水) 宮城県柴田町／はらから福祉会：障がい者の就労の取組
- 14日(木) 静岡県袋井市／健康マイレージの取組

産業建設委員会 7月20日(水)～22日(金)

- 20日(水) 広島県尾道市/NPO法人尾道空き家再生プロジェクト：空き家・空き店舗を活用したまちづくり
- 21日(木) 広島県広島市／外国人観光客の誘致と受入の推進
- 22日(金) 兵庫県姫路市／姫路駅北駅前広場の整備と管理活用

生活社会委員会 7月26日(火)～28日(木)

- 26日(火) 広島県福山市／上下水道事業のアセットマネジメント
- 27日(水) 香川県高松市／消防団員確保の取組
- 28日(木) 大阪府堺市／自転車利用における交通安全・防犯の取組

議会傍聴にお越しく下さい

●議会の傍聴とは

本会議や委員会の様子は、どなたでも傍聴していただけます。当日、傍聴受付で住所・氏名を記入し、傍聴券が交付された後は自由に会場へ出入りできます。車いすでの傍聴や盲導犬・介助犬を伴った傍聴も可能です。また、手話通訳者をご希望の方は、5日前までに議会事務局までお申し込みください。

★代表・一般質問の質問者や質問項目は、市議会ホームページで事前に公開しています。

●お問い合わせは豊田市議会事務局まで

●議場の見学とは

本会議を開催していない日は、議場を見学することができます(土・日・祝日を除く)。職員がご案内しますので、見学をご希望の際は、事前に議会事務局までご連絡ください。

また、各種団体での受入れもしておりますので、お気軽にご相談ください。

傍聴受付 ※会議が始まる30分前から受付

本会議→市役所南庁舎8階
委員会→同7階委員会室前

※期間や日程は広報とよた、市議会ホームページなどをご参照ください。

社会見学に
ピッタリ!!

自治区、学校等
からの傍聴も
お待ちしております。



ご意見・ご感想

「市議会だより」について、ご意見・ご感想また、市議会へのご意見・ご要望もお受けしていますので、下記までお寄せください。

【宛先・お問い合わせ】

豊田市議会事務局

〒471-8501 豊田市西町3丁目60番地

TEL.0565-34-6665

FAX.0565-34-6566

Eメール gikai@city.toyota.aichi.jp



豊田市議会は、古紙配合率80%の再生紙と大豆インキ、有害な廃液を一切排出しない水なし印刷方式を採用しています

★代表・一般質問の様子を視聴できます★

豊田市議会
ホームページで ▶ インターネット録画放送
豊田市議会 検索 http://toyota-shigikai.jp

「市議会だより」のバックナンバーや
会議録もご覧いただけます。 ▶ 「動画で見る!代表・一般質問」をクリック!

ケーブルテレビで ▶ ひまわりネットワーク 生中継&録画放送
チャンネル/121ch(ひまわりチャンネル)

FMラジオで ▶ FMとよた(ラジオ・ラビート)生中継
チャンネル/78.6MHz

9月市議会定例会の予定

9月市議会定例会は
9月2日(金)開会予定です

※この冊子は、折込み「6月市議会定例会号」です。

※このページは裏面です。
本紙から抜き取ってご覧ください。

とよた市議会だより



放課後児童健全育成事業(放課後児童クラブ)

豊田市では、保護者が就労や病気等の理由により昼間家庭にいない小学校に通う児童(原則、小学1年生～小学4年生)に対して、児童の健全な育成を図ることを目的として、授業の終了した放課後等に遊び時間や生活の場を提供しています。写真は放課後児童健全育成事業(放課後児童クラブ)の様子です。

本定例会では、議案第76号において、学校教育法の一部改正に伴う、放課後児童支援員の資格要件の一部改正を決定しました。

市税条例等の一部を改正する条例(議案第72号)

法律の改正に合わせた新たな税制度運用へ... 地方税法の一部改正に伴う、個人市民税の医療費控除の特例の新設などの改正を決定しました。

工事請負契約の締結(議案第80号)

林業の活性化及び森林資源の活用に向けて... 御船町地内に建設予定である、中核製材工場の建設用地造成が進みます。

- トップインフォメーション 市議会議員の仕事について 2
- 議案説明・討論 条例の一部改正・一般会計補正予算など 4
- 議案審議結果 5
- 常任委員会 付託案件を審査 6
- 市政について問う!
- 一般質問 19人の議員が質問 8
- トピックス
- 常任委員会視察
- 議会傍聴にお越しく下さい など 12

定例
会号
6月市議会
平成28年7月15日

市議会議員の仕事について

市議会というどのようなイメージをお持ちでしょうか。今回は市民の皆様が選挙で選んだ45名の議員が、どのような場所でどのような活動をしているのか、わかりやすくご紹介いたします。

議会とは



▲本会議の様子

だれもが住み続けたいと思うようなまちにしていけるには市民全員で話し合うことが一番良い方法です。しかし、実際に市民全員が集まって話し合うことは現実的ではありません。そこで、市民の皆様が選挙によって自分たちの代表となる人を選んで、その代表者が今後のまちづくりや社会福祉などについて話し合う、それが議会です。

話し合いの場である議会は、定例会が年4回(3・6・9・12月 各25日間程度)開かれ、その中で、一般質問や議案質疑^{※1}を行い、提出された議案等について審査し、議決します。急ぎよ、決定しなければならないことがあった時などは、臨時会を開催する場合があります。

議案質疑^{※1}…市長から議会側に提案された議案の不明な点について質問すること

市民の声を市に届ける仕事をしています

議員は、市民の意見を基に市に対し、一般質問を行ったり、住みよいまちをつくるため必要な条例(市のきまり)や予算(市が使うお金)を決めたり、決算(市が使ったお金)が正しいか調べています。

その際は、地域の意見を聞いたり、さまざまな団体からの要望を聞き、市がよりよくなるように、それらの市民の声を話し合いの中で反映させていきます。

◆議会の傍聴についてはP12トピックスをご覧ください。一般質問の様子▶



議案や予算・決算をチェックしています



本会議の限られた時間の中で、議案や予算・決算を詳細まで審査することは大変難しいことです。そこで、委員会という議員のグループを作り、その中で、議案をさらに詳しく審査しています。現在、本市では6つの常任委員会(企画総務、生活社会、教育次世代、環境福祉、産業建設、予算決算)を設置しており、議案の内容によって、委員会へ付託^{ふたく}^{※2}しています。

付託^{※2}…議案の詳しい話し合いや研究を委員会にゆだねること

◀委員会審査の様子

調査研究、地域の声を聞きに行きます



▲地域市議会報告会の様子

定例会が年4回の開催ということは、議員は残りの期間、何をしているのか疑問になった方もみえると思います。議員は、議会が開かれていない間でも、市民に議会で話し合った内容を紹介する地域市議会報告会の開催や、市民の意見も交えたシンポジウムを開催しています。さらに、特別委員会という調査研究グループもあり、現在、豊田市において課題となっている項目を調査研究し、市長への政策提言を行っています。

また、地域の会合、お祭りなどの行事にも参加し、地域での困りごとなどの意見を聞き、市政へ反映できるよう心がけています。

先進都市の取組を視察し、市に提言していきます

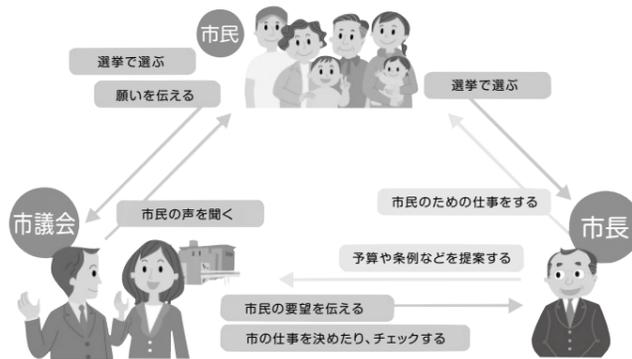
全国には、さまざまな事業について先進的に取り組み、市民満足の向上に努めている自治体が多くあります。議員として、広い視野に立って多くのことを学び、本市に活かせる事柄については積極的に活かしていくことが重要です。そのため、常任委員会や特別委員会などテーマをもって調査研究しているグループ単位等で先進地視察を行っています。また、研修会等に参加し、議員としてのスキルアップにも励んでいます。

◆今年度の常任委員会視察はP12トピックスをご覧ください。視察調査の様子▶



CHECK!! ～二元代表制～

市長と市議会議員は市民の直接選挙によって選出されます。市長の権限は予算や条例などの議案を提案します。市議会はその議案が適切公平か、問題点はないかなど審査(議案審査)し、決定(議決)します。つまり、市議会は、市の行政運営をチェックする役目を担っています。



条例の一部改正、一般会計補正予算など18議案を議決

小原歌舞伎伝承の施設を整備します

【議案第73号】生涯学習センター条例の一部を改正する条例

内容 小原交流館の研修室の一つを廃止し、(仮称)豊田市小原歌舞伎伝承館を整備することで普及啓発や活動支援を行います。
小原歌舞伎(豊田市無形民俗文化財)は、江戸時代中期から、神社に奉納する地芝居として始まり、いにしえからの技と伝統が今も脈々と受け継がれています。



小原歌舞伎 五月(さつき)公演の様子

高齢者先進安全自動車購入の補助などを行います

【議案第79号】平成28年度一般会計補正予算

内容 高齢者の交通安全を推進していくために、自動ブレーキ等が搭載された先進安全自動車購入の際に補助金を交付いたします。また、このほか、環境モデル都市を推進していくための次世代社会システム実証推進費と、環境対策として次世代自動車の普及促進費の補正予算を決定しました。

討 論

本会議最終日に各委員会審査の委員長報告を受けて、各会派等が賛成、反対の意見を述べ、賛同を求めました。

※発言順に記載

根本美春 諸派 大企業に偏った補助金であり、反対

議案第77号: 反対。豊田市企業誘致推進条例の一部を改正する条例に伴う補助金は、大企業に偏ったものであり、また、産業空洞化対策として、補助対象の条件を緩和することだが、現状の数値を把握されないままでは、空洞化対策となるのか疑問であるため、反対。

議案第83号: 賛成。豊田大橋橋りょう耐震補強について、安全確保の点で耐震・補修は必要であると考え、賛成。ただし、公共建築物の建設にあたって規模や構造について、華美にならず機能性を重視することを十分検討すべき。

加藤和男 自民クラブ 中核製材工場に大きな期待を寄せ、賛成

議案第80号: 賛成。エネルギー利用を含めた森林資源の活用促進、就業の機会の増加による中山間地域の活性化、森林整備の担い手の確保等が一層進むことが期待できるものでその第一歩として評価し、賛成。

議案第84号: 賛成。今回の足助消防署整備を行うことにより、中山間地域の安全・安心が更に図られ、また女性職員も安心して就労できる職場環境を構築するものであり、賛成。

中村孝浩 市民フォーラム 次世代に向けた実証事業に期待し、賛成

議案第77号: 賛成。奨励金が有効活用され、本市から市外への転出を防ぎ、本市の産業振興に寄与すると共に制度改正の周知を図ることを期待し、賛成。

議案第79号: 賛成。次世代社会システム実証推進費について、本市の具体的な課題を、人工知能等の最先端技術で解決出来るテーマを今後、協議会の中で決め、取り上げていくことも確認。平成29年度以降、幅広い実証事業の着手に繋げていくことに期待し、賛成。

榎屋小百合 公明党 高齢者の交通安全対策のための補助金、賛成

議案第79号: 賛成。自動ブレーキ等の先進安全技術で、尊い命を守るための効果が大きい期待できること、補助対象を車両本体価格300万円以下の乗用車としており、補助金効果がより活かされることなどを評価し、賛成。

議案第82号: 賛成。豊田市立猿投中学校校舎増築工事完了後は、メーングラウンドとサブグラウンドが利用可能になるため、グラウンドが現状より、約2,700m²広くなり、野球場が増設されることで、生徒にとってより使用しやすくなることを評価し、賛成。

岡田耕一 諸派 地区計画、既存学校施設においても大きな影響なく、賛成

議案第78号: 賛成。井上自治区の世帯数は現在2,000世帯以上であり、35世帯の増加で大きな影響はなく、既存学校施設でも増改築等の必要がないと確認ができ、問題ないと判断し、賛成。

議案第85号: 賛成。当該自治区は認可地縁団体ではないが、譲渡される下越戸児童遊園便所建物と土地の名義についても、懸念される財産上のトラブルの可能性は極めて少ないとの考えも支持。無償譲渡の施設、児童遊園の一層の利活用を期待し、賛成。

※議案名など一部省略して記載しています

6月市議会定例会に提出された案件

◆議 案

採決結果	議案	会 派 別 賛 否 ※自民クラブは議長を除く							
		自民クラブ27名		市民フォーラム10名		公明党4名		諸派3名	
		賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対
原案可決	第72号 市税条例等の一部改正条例	27	0	10	0	4	0	3	0
//	73 生涯学習センター条例の一部改正条例	27	0	10	0	4	0	3	0
//	74 家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正条例	27	0	10	0	4	0	1	2
//	75 児童福祉施設の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正条例	27	0	10	0	4	0	1	2
//	76 放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正条例	27	0	10	0	4	0	1	2
//	77 企業誘致推進条例の一部改正条例	27	0	10	0	4	0	1	2
//	78 地区計画等の区域内における建築物制限条例の一部改正条例	27	0	10	0	4	0	3	0
//	79 平成28年度一般会計補正予算	27	0	10	0	4	0	3	0
//	80 工事請負契約の締結(中核製材工場用地造成工事)	27	0	10	0	4	0	3	0
//	81 // (枝下水10号放水路移設工事(都市計画道路高橋細谷線関連))	27	0	10	0	4	0	3	0
//	82 // (市立猿投中学校校舎増築工事)	27	0	10	0	4	0	3	0
//	83 // (豊田大橋橋りょう耐震補強・補修工事(その4))	27	0	10	0	4	0	3	0
//	84 // (足助消防署整備工事)	27	0	10	0	4	0	3	0
//	85 財産の無償譲渡(下越戸児童遊園便所建物(越戸町地内))	27	0	10	0	4	0	3	0
//	86 財産の取得(水槽付き消防ポンプ自動車)	27	0	10	0	4	0	3	0
//	87 // (高規格救急自動車)	27	0	10	0	4	0	3	0
//	88 // (基幹バス)	27	0	10	0	4	0	3	0
//	89 // (小型動力ポンプ付き積載車)	27	0	10	0	4	0	3	0

◆同 意

第4号	人権擁護委員の推薦 (再任:太田悦子氏、深津孝子氏、新任:堀隆昭氏、山内知佐子氏)	同意	27	0	10	0	4	0	3	0
5	副市長の選任(新任:磯谷裕司氏)	//	27	0	10	0	4	0	3	0

◆報 告

第5号	専決処分報告(和解の成立2件、工事請負契約の変更1件)									
6	継続費等の報告(継続費、繰越明許費)									

◆陳 情

第1号	道幅復元に関する陳情書									
2	憲法をいかにして働く者の権利を守り、住民生活の向上、平和施策の充実を求める陳情書									

6月15日及び27日の本会議で委員会に付託された案件の審査を、5つの常任委員会で行いました。委員会の審査内容について、主な質問と答弁を要約して紹介します。

委員会

産業建設
委員会

6月16日、付託された7議案を審査し、議案のすべてを全会一致で承認しました。他に陳情2件を報告しました。

【第77号】 企業誘致推進条例の一部を改正する条例

質問 これまでに再投資奨励金を交付した企業は、引き続き市内で操業しているのか。また、操業を取りやめた場合の奨励金の扱いはどのようなか。

答弁 平成24年度の制度開始以来、再投資奨励金を交付したのは13企業で、現在も全ての企業が市内で操業している。また、操業開始以降5年以内に、再投資奨励金の対象となった施設や設備等の稼働をやめた場合は、交付した奨励金の全部、または一部を返還することとなっている。

【第78号】 地区計画等の区域内における建築物制限条例の一部を改正する条例

質問 住民説明会で出された主な意見と対応はどのようなか。

答弁 平成28年1月に開催した住民説明会で、意見と要望があった。1点目の歩行者の安全対策についての意見に対しては、既設道路を拡幅することにより、できる限り歩行者の通行空間を確保する。2点目の地域の資源ごみ置き場の設置要望に対しては、地区計画による宅地造成に合わせて設置スペースを確保する。

【第81号】 工事請負契約の締結(枝下用水10号放水路移設工事(都市計画道路高橋細谷線関連))

質問 工事期間中の交通規制の影響と隣接する長興寺グラウンドの利用者への対応はどのようなか。

答弁 既設管の位置や形状を確認するための試掘段階や管の接続の際に交通規制が必要となり、都市計画道路 高橋細谷線の終日片側交互通行を予定している。また、長興寺グラウンドの歩行者通路は、仮設の通路を設置して歩行者を誘導し、安全を確保する予定でいる。なお、グラウンドとその南側にある駐車場は、工事期間中も利用可能となる。

環境福祉
委員会

6月17日、付託された議案はありませんでした。

教育次世代
委員会

6月20日、付託された4議案を審査し、議案のすべてを承認しました。他に陳情1件を報告しました。

【第74号】 家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

【第75号】 児童福祉施設の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

質問 条例の対象となる本市の施設はいくつあるか。また、認可外ではどのようなか。

答弁 議案第74号の対象となる小規模保育事業所等は2施設、議案第75号の対象となる保育所は71施設で、いずれの施設も4階以上に保育室等はなく、条例改正の影響を受ける施設はない。また、

認可外保育施設については、条例の対象外であり、国が定める「認可外保育施設指導監督基準」に基づき、指導監督等を実施している。4階以上に保育室等がある認可外保育施設は、1施設だけがあるが、この基準に適合しており、運営上問題はない。

【第82号】 工事請負契約の締結(市立猿投中学校校舎増築工事)

質問 今回の猿投中学校校舎増築の要因は、乙部ヶ丘地区の生徒数の増加によるものとされているが、開発時の計画人口と現状はどのようなか。また、推計では平成33年度をピークとし、その後、減少傾向になるとのことだが、推計の算出方法はどのようなか。

答弁 乙部ヶ丘団地は平成5年1月から宅地分譲が開始され、当時の開発計画における計画戸数と人口は、約1,100戸、約4,600人としていた。現状は、平成28年5月1日時点で、世帯数が1,197世帯、人口は4,057人となっている。推計の算出方法は、毎年、住民基本台帳の学区別及び年齢別人口に基づき、小学校は6年先まで、中学校は12年先まで、学校ごとに算出している。

生活社会
委員会

6月21日及び27日、付託された5議案を審査し、議案のすべてを全会一致で承認しました。

【第73号】 生涯学習センター条例の一部を改正する条例

質問 小原交流館の研修室5を廃止することによる、利用者への影響はあるか。

答弁 研修室5は、平成26年3月から供用開始されているが、

稼働率は5.6パーセントと、利用頻度が低く、ほかにある五つの会議室などで代替が可能であり、影響はないと考えている。

【第86号】 財産の取得
【第87号】 (水槽付き消防ポンプ自動車及び高規格救急自動車)

質問 今回取得する水槽付き消防ポンプ自動車及び高規格救急自動車それぞれの保有台数は、東日本大震災により改正された、国が示す消防力の整備指針の基準を満たしているか。

答弁 国が示す、消防力の整備指針の改正内容は、大規模な地震災害時で活用する非常用車両の台数を増加させるもので、この改正により、本市では、平常時で活用する台数は満たしているが、非常用の消防ポンプ自動車2台と、同じく非常用の救急自動車1台が不足する状況となっている。不足している車両については、次期消防整備基本計画で、新規購入として盛り込み、消防力の整備指針に定められた台数になるよう整備していく考えである。



水槽付きポンプ自動車

企画総務
委員会

6月22日、付託された1議案を審査し、全会一致で承認しました。他に陳情1件を報告しました。

【第72号】 市税条例等の一部を改正する条例

質問 個人市民税の医療費控除の特例の新設につい

て、現行の医療費控除制度との違いは、どのようなか。

答弁 違いは大きく3点で、1点目は控除を受けられる人の違いで、現行制度では、特に要件はないが、特例では、健康の保持増進及び疾病予防への一定の取組を行っていることが要件になっている。2点目は、控除の対象となる医療費の違いで、現行制度は、負担した医療費全般が対象で、医療費のうち所得金額の5パーセント又は10万円のどちらか低い金額を超えた部分が対象であるのに対し、特例では、特定一般用医薬品等の購入費が対象となり、金額は1万2,000円を超えた部分が対象になる。3点目は控除の上限額の違いで、現行制度の上限額が、200万円であるのに対し、特例の上限額は、8万8,000円となっている。

質問 軽自動車税率の特例適用期限延長について、軽自動車のグリーン化特例とはどのようなものか。

答弁 グリーン化特例とは、平成27年4月1日から平成28年3月31日までに、最初の新規検査を受けた軽四輪等で、排出ガス性能及び燃費性能の優れたものについて、平成28年度分の軽自動車税を軽減するという特例措置であり、今回、その適用期限が1年間延長して、平成29年3月31日までになるというものである。

対象車種及び特例の軽減率については、3段階の区分であり、一つ目は、電気自動車及び天然ガス自動車は75パーセント軽減、二つ目は、乗用車で平成32年度燃費基準をプラス20パーセント達成、又は貨物車で平成27年度燃費基準プラス35パーセント達成する車両は50パーセント軽減、三つ目は、乗用車で平成32年度燃費基準を達成又は、貨物車で平成27年度燃費基準をプラス15パーセント達成の車両については25パーセント軽減となる。

予算決算
委員会

6月15日から24日にかけて、付託された補正予算1議案を審査し、全会一致で承認しました。

【第79号】 平成28年度一般会計 補正予算(高齢者交通安全費)

質問 今回の補助制度は高齢者が対象だが、申請手続きを簡素化するなどの配慮はあるか。

答弁 申請手続きが煩雑とならないように、通常は交付申請書と実績報告書を別々に提出する必要があるものを一つにまとめ、一度の提出で手続きが完了するように配慮するとともに、申請書類の記入項目についても、必要最小限度にするなどの簡素化を図っている。また、各ディーラーに申請書類の作成補助や、申請手続きの代行といった可能な支援をお願いするなど、協力をいただきながら進めていきたいと考えている。

【第79号】 平成28年度一般会計 補正予算(環境対策啓発費)

質問 昨年12月に西三河5市が連携して低炭素型のまちづくりを目指す首長誓約を行ったが、今回の環境省の補助金を活用した次世代自動車の普及促進は、他の4市と連携したものか。

答弁 補助金の活用については、5市のうち、豊田市と岡崎市、みよし市の3市が次世代自動車の普及促進を共通テーマに応募し、いずれも採択されており、安城市と知立市は今回応募していない。ただ、事業実施の段階では安城市、知立市も含め、連携して行う予定をしている。



ハイブリッド車からの外部給電の様子

6月13日から15日にかけて、19人の議員が市政の方針や考え方などについて聞く「一般質問」を行いました。その質問と答弁の一部を要約して掲載します。詳細については市議会ホームページ内の録画映像か、市役所市政情報コーナー（南庁舎1階）、中央図書館、コミュニティセンター、地区交流館に配布する9月下旬発行予定の会議録をご覧ください。

鈴木 章

自民クラブ



- 三好特別支援学校の過大化
- 第8次総合計画策定の方向性
- 超高齢社会への対応

質問 三好特別支援学校の過大化に対する市の対応

今後、三好特別支援学校の過大化問題に対して、豊田市はどのように取り組み、どのような提案ができるのか、考えと決意を問う。

答弁 市長

平成28年6月、愛知県知事に「豊田市域における県立知的障がい特別支援学校の設置に関する要望書」を提出した。要望内容は愛知県の策定した特別教育推進の指針である「愛知・つながりプラン」を着実に推進し、三好特別支援学校の過大化による教室不足等の解消に向け、豊田市域における新たな県立知的障がい特別支援学校の設置の早期着手である。本市としても、特別支援学校の設置に向けて、市域における校地の確保に最大限努力することを伝えた。

日當 浩介

市民フォーラム



- 熊本地震から学ぶ豊田市の防災対策

質問 避難所等の危機管理体制と運営

避難所のプライバシーの配慮も大変重要な避難所対応とを感じる。避難所でのプライバシー対策について、どのような対策を考えるか。

答弁 社会部

避難生活の長期化に応じて、高齢者、障がい者、女性、子ども等災害弱者と言われる方々に特に配慮することが重要で、災害時要援護者等に配慮した更衣室、女性専用の物干し場及び授乳室の確保を始め、仮設トイレの設置も女性等に配慮した区画設定に努める必要がある。また本市ではプ

イバシーに配慮した避難スペースを確保するため、段ボール間仕切りを地区防災倉庫等に分散して備蓄し、居住スペースの仕切りとして利用するほか、個室タイプの間仕切りも備蓄し、活用ができると考えている。



段ボール間仕切りを使用した防災訓練

大村 義則

諸派



- 消費税10%への増税見送りの影響
- 教室の空調整備と特別支援学校対策

質問 学校の教室へのエアコンの設置

小中学校の教室へのエアコン設置は全国県内から比べて、遅れていると思われる。豊田市の小中学校の教室へエアコンを設置すべきと考えるが、見解を問う。

答弁 学校教育部

現在のところ、新たに教室へのエアコン設置は考えていない。なお、引き続き、気象状況や学習環境に対するニーズの変化、周辺自治体の動向などの情報収集に努め、財政状況を考慮しつつ、必要となる学習環境の整備のあり方について調査研究をしていく。

日恵野 雅俊

自民クラブ



- 第2期豊田市中心市街地活性化基本計画
- 豊田中央図書館の指定管理者制度導入

質問 今後の展開

第2期豊田市中心市街地活性化基本計画と中心市街地のにぎわい創出と関連する他の計画との連携について問う。

答弁 副市長

今年3月策定の都心環境計画と、6月策定の矢作川河川環境活性化プランがあり、都心環境計画では、都心空間の活用と再整備の両面から施策を推進する。活用の取組では、テナントミックス事業など民間事業の推進、中央図書館、コンサートホール、美術館などの公共施設の利用促進と公共空間の活用推進などを連携して展開し、再整備の取組では、名鉄豊田市駅を中心に本市の顔づくり、主要施設の再整備を進める。矢作川河川環境活性化プランでは、多くの市民が利用する空間を創出し、河川空間の新たな活用を推進していく。



豊田市駅 東口 イメージ図

根本 美春

諸派



- 図書館の指定管理・民営化は白紙撤回を
- 子どもの貧困を救うフードバンクの支援を

質問 指定管理者制度導入は、白紙撤回を

図書館の指定管理者制度導入は問題があって不安だという意見を、協議会からも市民からも聞く。指定管理者制度導入は白紙撤回し、今一度市民の意見を聞くべきと考えるが、その見解を聞く。

答弁 教育行政部

今回の指定管理者制度導入にあたっては、平成26年に実施した市民や利用者アンケートをもとに、市民が図書館に求めるニーズを把握し、図書館協議会、市民を交えた数々の場において、意見交換を行ってきた。市民の代表である議会の理解も得ていながら、目指すべき図書館像や運営体制について議論を深めているところである。本市としては、市直営の仮称図書館管理課を、中央図

※質問順に掲載しています。

※正式な会派名/自民クラブ：豊田市議会自民クラブ議員団 市民フォーラム：豊田市議会市民フォーラム 公明党：公明党豊田市議団 諸派：会派所属無

一般質問

答弁 社会部

今年度、猿投台地域会議から要請を受け、12月に猿投台中学校で交通安全シンポジウムを開催する。シンポジウムでは、「猿投台地区から発信！交通死亡事故ゼロのまち豊田市を目指して」をテーマに、スライド上映や各世代の代表者によるパネルディスカッションのほか、中学生を対象とした交通安全ワークショップ、猿投台地区の資料展示等を実施予定である。猿投台地区は、我が国の交通事故史に残る衝撃的な事故であり、このシンポジウムを通じて、交通死亡事故根絶への決意をメッセージとして、猿投台地区から広く市内外へ発信していきたい。



とよた安全安心フェスタパネル展示

水野 博史

自民クラブ



- 強い地域を作る共働社会にむけて
- とよたを愛する職員の育成

質問 地域カルテの取組

新しく取り組む地域カルテの概要と目的について問う。

答弁 社会部

地域カルテは、地域の情報を集約した地域情報カルテと、地域が自ら考え行動する自治力に着目した自治力見える化カルテの大きく2種類である。地域情報カルテは、人口などの基礎データ、学校、公共施設などの都市基盤の状況、観光や特産品などの地域資源、産業など、客観的な地域情報のデータを掲載している。自治力見える化カルテは、地域への愛着心、自治区活動への参加状況、各種地域活動の状況など、地域の自治レベルを表す。市内

書館内に設置するなど、これらの協議や意見交換会の場での意見を運営体制に反映したうえで、指定管理者制度を導入する方針を平成28年3月に決定し、平成29年4月に移行する手続きを進める。

深津 真一

自民クラブ



- 総合計画における土地利用構想の取組
- 情報共有による市民サービス向上の推進

質問 本市のオープンデータ化の推進

愛知県全域での活用しやすいオープンデータ化の研究と整備を進めていることを評価するうえで、オープンデータ化に向けた今後の課題と計画について、見解を聞く。

答弁 総務部

愛知県内では、一部のデータ項目や形式などの共通ガイドラインを策定しているが、全国自治体レベルでの共通のガイドラインは未だ策定されていないため、県域を越えてデータ利用する場合、利用しづらいといった課題がある。今後、国による全国共通ガイドラインが策定されていくものとする。今後の計画について、公開データは多くの市民や事業者等に活用していただき、オープンデータの実施効果を発揮できるよう進め、平成28年度中に防災、観光、人口統計、医療・福祉施設、公共交通といった5分野のデータを優先的に公開し、順次データの拡充を図る予定である。

木本文也

自民クラブ



- 一億総活躍社会の実現
- 定住対策と三世同居推進
- 猿投台地区

質問 50年を迎えて

50年前の猿投台地区事故を知らない世代も増えてきた。事故があった猿投台地区から交通安全を全国に発信することが重要と考えるが、当地区から市内外へと発信する取組について問う。

28地区のカルテを作成し、地域課題の抽出や効果的な施策立案に活用し、各地域の共働のまちづくりに生かすことを目的とする。

岩田 淳

自民クラブ



- 18歳以上 選挙権制度に向けて
- 青少年センター事業における模擬選挙

質問 選挙管理委員会の取組

今回の選挙権年齢引下げに対し、若者の関心を向上させるのに本市として何が必要と捉え、どのような施策を実施していくか問う。

答弁 選挙管理委員会

若者に選挙への関心を深めてもらうためには、従来の方法に加えて若者向けに特化した啓発活動が必要であると考えている。年齢引下げ後は初めての選挙である今回の参議院議員通常選挙に向けては、若者が選挙に親しみを持ってもらえるような動画を作成してホームページ上に掲載することや、18歳から20歳の新有権者宛てに、選挙制度等を分かりやすく紹介する啓発ハガキを送付することを予定している。

田代 研

公明党



- いじめ対策と教師の多忙化
- 胃がん対策

質問 教師の多忙化解消での対策

教師の多忙化対策は今後どのようにしていくのか。

答弁 学校教育部

教育委員会と学校間のみがパソコン上でつながるネットワークシステムを活用し、事務処理の効率化を図る。研修や出張の精選に取り組むほか、校

議員氏名
会派名



○一般質問の大きなテーマ(大項目)
●以下の質問に関連している項目

質問 一般質問の小さいテーマ(中項目)
実際に質問した内容(小項目)

答 弁 回答した部局名
質問に対する市の担当部局の回答

マメ知識

一般質問とは

議員が市政全般について、事務の執行状況や将来の方針等の報告・説明を求め又は質問すること。定例会でのみ行われます。一般質問の順番は、くじ引きによって決まります。

外に出張しなくても教材の研究や研修がしやすい環境を整え、各学校においても行事の精選や、在校時間の削減など教師が気軽に相談できる職場環境づくりに努める。一方で、子どもたちへのきめ細かな教育を目的とした豊田市独自の非常勤講師や補助員、スクールカウンセラー等の配置が、教員の多忙化や多忙感の解消にもつながっていることも踏まえ、継続して配置していきたいと考える。

岡田 耕一

諸派



- 利用者、環境にやさしい体育施設
- 本市における中央図書館運営のあり方を考える

質問 指定管理者制度移行に関する基本的な考え方

図書資料は地元業者から最優先して購入すべきと考えるが、納入先の考えはどうか。また、職員給与は、指定管理者制度へ移行する場合であっても、最低でも現状と変わらない水準とし、指定管理者業務仕様書にも明記すべきと考えるが、所見を問う。

答 弁 教育行政部

これまで市の調達方針に従い基本的に市内業者から購入してきた。指定管理者制度移行後も、同様の措置を取るよう指定管理者業務仕様書に定めていく。職員給与については、指定管理者制度移行にあたり、雇用の継続性の確保、司書等の質が重要と考えることから、指定管理料は、現行の賃金水準を基に積算していく。さらに指定管理者の選考にあたっては、人件費を含む労働条件を提案項目に加えて評価することにより、職員の賃金水準の維持を図っていく。

山野 辺 秋夫

市民フォーラム



- 都心環境計画による中心市街地の活性化

質問 来訪者を増やす魅力の創出

豊田市駅周辺の中心市街地は、豊田市の顔として誇りある都心であることが求められるが、都心が有する既存資源を有効活用しつつ、豊田らしさが感じられるにぎわい創出の考えを問う。

答 弁 市長

豊田市の都心は高水準な都市機能と豊かな自然がコンパクトな徒歩圏

内にあることが特徴であり魅力である。都心の既存ストックを含めた機能と市民力、地域力、企業力などの全市域の様々な資源のエッセンスを有機的に連携させていくことで、豊田ならではの独自の魅力を発信できると考える。今後は、それらの資源を有効活用しつつ、都心環境計画をはじめ都心に関わる計画を実現させながら、WE LOVEとよたを原動力に、豊田らしさを発揮させていきたい。

古木 吉昭

市民フォーラム



- 水害に強いまちづくりをめざして

質問 水害への共助・公助を含めた準備

事業所にお勤めのみなさんから、年4回行っている防災情報伝達訓練の放送を聞いたことがないという声を聞くため、実施時間帯の変更を含め市の見解を聞く。

答 弁 社会部

緊急地震速報訓練をはじめとする防災情報伝達訓練は毎年4回実施している。うち3回の訓練は、消防庁がアラートを用いて全国一斉に実施する訓練のため、市が曜日や時間帯を変更することが困難である。市独自の訓練は、毎年1月の防災とボランティア週間に合わせて実施し、平日の午後4時15分に実施しているため、自主防災会等の意見を伺った上で、休日での実施を含め、より多くの市民のみなさんが確認できる日時で実施したい。

羽根 田 利明

自民クラブ



- 全ての人に優しい福祉社会の実現

質問 農福連携事業の推進

本事業は障がい者の仕事の拡大や休耕田等の解消、農家の人手不足

という問題に貢献すると考えるが、今後の取組及び農福連携事業の推進に向けた窓口の設置を問う。

答 弁 市民福祉部

農福連携は、市内の社会福祉法人や全国の先行事例からも効果が認められており、地域の理解を得ながら推進していきたい。今後の取組としては、平成28年度から、ネットワーク会議を受け継ぐ形で、豊かな田んぼプロジェクトというワーキンググループを立ち上げており、このプロジェクトを先行して取り組んでいる社会福祉法人や農業生産法人の実践を踏まえながら取組を進めていきたい。窓口の設置については、今後、農政課と連携を図りながら、まずは障がい福祉課を窓口に、農福連携がもたらす効果と必要性を広く情報発信していきたい。

大石 智里

公明党



- 発達障がい者支援の充実

質問 図書館における合理的配慮

発達障がいの中でも読み書き障がいであるディスレクシアの場合、診断できる医療機関が少なく、診断が容易ではない。合理的配慮の観点からも、障がいのある方も読書が楽しめるマルチメディア・デジジー図書の本市の貸し出し条件の見直しについて問う。

答 弁 教育行政部

発達障がいの方の、障がい者用資料の現行の貸し出し条件は、医療機関等に通院又は入院する方は、障がいの程度を提示する必要がある。ディスレクシアの場合、医療機関等に通っていない場合もあり、障がいの程度の証明が困難である。ディスレクシアのように、読み書きに困難を抱える障がい者に加えて、高齢者の方々にもマルチメディア・デジジー図書を含むデジジー図書を活用してもらいたいと考え、今後貸し出し条件等の緩和を図っていききたい。



マルチメディア・デジジー図書

桜井 秀樹

市民フォーラム



- 第8次豊田市総合計画の策定に向けて

質問 今後の方向性

次期総合計画に掲げていく将来都市像に「つくる つながる 暮らし楽しむまち・とよた」とあったが、将来都市像に込める想いについて問う。

答 弁 企画政策部

第8次豊田市総合計画における将来都市像については、第一に、市民や地域、企業などの多様な主体が、共にまちづくりに取り組むまちの姿を掲げたいと考える。つくる、つながる楽しみを暮らしの中に生み出すまちの姿や、やりがいや人から必要とされていることを実感できる暮らしを楽しみ、誰もが行動へと一歩踏み出せるまちの姿、そして、生み出したものを次世代へつなげ、未来を楽しみに変えるまちの姿を描いている。

宮本 剛志

自民クラブ



- 低炭素社会・防災力を備えた都市モデルの実現

質問 先進技術の活用による災害に強いまちづくり

過去の災害時においても、ドローンは情報収集に活用されたように、ドローン活用は行政にとっても大きな可能性がある。行政の体制づくりも必要と考えるが、ドローンの活用について問う。

答 弁 経営戦略室

ドローンの普及を新たなビジネスや社会の課題解決につなげることを目的に、平成27年度ミライ・チャレンジセミナーとして、市民や企業を対象とした講演会とデモ飛行を実施した。ミライ・チャレンジ都市パートナーシップ協定により、市のドローン活用に関してパートナー企業から機体やオペレーターの提供、人材育成等の協力を得る体制を構築した。現在、市業務での具体的なドローン活用方法を整理し、災害時の現場確認、緊急物資の運搬、消火活動の支援、広報用写真の撮影、公園・河川・橋梁の管理などを想定し迅速に対応できる体制を整えていく。



ミライ・チャレンジ都市パートナーシップ協定

原田 隆司

自民クラブ



- 豊田市の魅力と賑わいのある中心市街地

質問 映画を活かしたまちづくり

本市を舞台とする映画制作について、来年春の撮影が期待されるが、豊田市民の台詞のある出演や、エキストラとしての出演など予定されているか。

答 弁 経営戦略室

本市を舞台とする映画を制作する黒土監督から、準主役の少年役は本市でオーディションを実施すること、出演者に市民を加えること、エキストラで多くの市民に参加してもらいたいこと、撮影は本市の都心部や中山間地等において公開で実施し、映画制作の現場を多くの市民に見てもらいたいことなどを聞いています。市としても多くの市民に参加してもらい、より映画に親しみを持ってもらうことで、映画文化の醸成につなげたい。



とよた認知症あんしんガイド